

石造浮彫地藏菩薩立像

せきぞううきぼりじぞう
ぼさつりゅうぞう

市指定

所在地：今田町市原



東条川右岸の岩盤を船形状に彫りくぼめ、その中央に半肉彫りされた地藏菩薩像である。

右手に錫杖、左手に宝珠を持つ通例の地藏菩薩で、衣を両肩にまとい、衣文を腹部から脚部にかけて6筋表わしている。面部は幅が広く、体部も量感豊かに表現されている。

台座は半円形で、正面中央の蓮弁は明瞭に刻まれているが、その他は大まかに刻出されている。文和4年（1355）銘の和田寺石造地藏菩薩板碑と作風を比較すると、当地蔵菩薩の方がやや制作年代が新しく、室町時代のものと見られる。屋外にある石造物として、面相や像容が明瞭に残るのは珍しい。

像高38cm。